



2月19日

「街づくりトークしよう」盛大に開催

「ずーっと住みたい松前町」になることを願って活動しているボランティアグループ「ネットワーク松前(藤岡 緑代表)」による「街づくりトークしよう」が、松前総合文化センターふれあい展示室で、約130名の参加者のもと開催されました。

当日は、ゲストに白石勝也町長と東雲短大の桐木陽子助教授をお招きし、子育て、ゴミの減量、福祉・少子化問題と男女共同参画社会づくりの4つのテーマについて熱いトークが繰り返され、大盛況の内に終了しました。

主催グループ15人のメンバーは、「次回も期待しているよ」という多くの声を聞き、これからも生活者の視点で調べ、考え、提案できる活動を続けていく決意を新たにしました。



2月21日

「人権の花」贈呈式&交流会

青葉幼稚園(徳丸)の年長組52名の皆さんが、特別養護老人ホーム鶴寿荘・ケアハウスひまわり苑(鶴吉)を訪れ、パンジーとなでしこの花を贈りました。

この花は、去年の11月に、子どもたちに花を育てることによって、生命の大切さや、お互いが助け合うところを学んでもらおうと、人権擁護委員と松前町から幼稚園に贈られた苗を、厳しい冬の間、園児のみんなが大切に育てた「人権の花」です。

贈呈式では、園児を代表して佐竹南海輝くん、田中碧ちゃん、長山亮太くん、山岡真衣ちゃんが元気にメッセージを贈った後、6人の園児が花のプランターを一生懸命抱えて、入居者代表の方に手渡しました。

贈呈式に引き続き、園児のハーモニカによる「チューリップ」、「ちょうちょう」の演奏と、「野に咲く花のように」の合唱が披露され、入居者や利用者の方は子どもたちの熱演に目を細めて聴き入っていました。続いて水口人権擁護委員による手品が披露された後、記念撮影がおこなわれ、お互いの交流を深めました。入居者の皆さんには最高のプレゼントでした。

2月24日

東レアローズを応援してください

2月25・26日に県武道館で行われる、Vリーグの試合を前に、東レアローズの齊藤信治選手、篠田歩選手、矢島久徳監督が来庁されました。

「地元の企業「東レ」のチーム、東レアローズを応援してください」と、白石町長に東レの応援グッズを手渡し、試合での健闘を約束しました。

2月25・26日に行われた試合には、両日とも約400名の応援団(東レ職員・松前町民)が応援に駆けつけ、東レアローズに声援を送りました。

《試合結果》レギュラーラウンド愛媛大会

25日	東レ	VS	NEC	26日	東レ	VS	JT
	3	—	1		1	—	3



▲来庁された東レアローズ男子の皆さん
(左から、齊藤選手、篠田選手、矢島監督)



2月27日

生活環境改善事業に尽力

愛媛県自治会館で愛媛県清掃事業協会の総会が行われ、その中で伊予市松前町共立衛生組合職員の大塚元さんが「生活環境改善事業功労者会長表彰」を受賞されました。

これは、し尿処理業務に対して永年の功績があったことが評価されたものです。

おめでとうございます。